| 個　人　質　問 | 議会事務局<br>処　理　欄 | 令和８年１１月５日　１１時２７分　受付 |
|---|---|---|
| | | 質　問　順　位　第　６　番 |

武豊町議会議長　石川　よしはる　殿

武豊町議会議員　　石川　喜次

## 一　般　質　問　の　通　告　に　つ　い　て

令和８年第４回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

| 質　問　事　項 | 質問の要旨(具体的にご記入願います) |
|---|---|
| １.持続可能な行財政運営について | 【趣旨説明】<br>本町の財政見通しについて、持続可能な行財政運営の方策という観点から伺います。<br>現在、本町は、第 6 次総合計画後期基本計画のもとで町政運営を進めております。武豊町の総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の三層で構成され、実施計画は各施策の主な事業と実施時期を明らかにする三年単位の計画として、毎年度作成されるものとされています。第 6 次総合計画後期基本計画は、令和 8 年度から令和 12 年度までの五年間を計画期間として策定されております。<br>あわせて、本町では、第 7 次行革プランの計画期間満了を受け、令和 8 年度から令和 12 年度を計画期間とする第 8 次行革プランが公表されております。町としては、令和 8 年度から本プランに基づき行政改革を進めて行くことが示されており、今後の行財政運営を考える上で重要な位置付けを持つものであります。<br>このように、本町は今まさに、総合計画後期基本計画と第 8 次行革プランのもとで、今後の行政運営の方向性を具体化していく時期にあります。<br>しかしながら、財政運営は、単に足元の収支が合っているかどうかだけで判断できるものではありません。後期基本計画の策定に当たり町が示しているとおり、本町を取り巻く社会環境はこの数年で大きく変化しております。コロナ禍、円安、物価高騰、DX の進展、さらには人口減少と少子高齢化の進行など、今後の行政需要と財政負担の両面に影響を及ぼす要因が重なっております。<br>とりわけ今後を見通した場合、人口構造の変化に伴う歳入への影響、社会保障関係経費の増加、公共施設の維持更新費用の増嵩、物価上昇に伴う経常的経費の上振れなど、将来的に財政を圧迫する要因は少なくないと考えます。後期基本計画においても、効率的で効果的な行政運営や、財産の適正管理と有効活用、将来世代への過大な負担を避ける視点が示されております。<br>また、実施計画は三年単位で毎年度作成される仕組みであり、その時々の社会経済情勢や財政状況の変化を踏まえながら運用されるべき性格を持つものであります。したがって、令和 9 年度から令和 11 年度までの財政計画や地方税見込みが示されているとしても、重要なのは、その数値だけではなく、その前提を町がどのように分析し、どのような変動要因を見込み、どのような備えを講じようとしているのかという点であります。<br>持続可能な行財政運営を実現するためには、歳入と歳出の見通しをできる限り客観的に捉えた上で、事業の優先順位付け、実施時期の精査、既存事業の見直し、公共施設マネジメントの徹底、さらには限られた行政資源の重点配分を進めていくことが不可欠であります。加えて、行革は単なる削減ではなく、住民サービスの質を維持しながら、より効率的で効果的な行政運営へとつなげていく視点が求められると考えます。第 8 次行革プランの策定は、まさにその方向性を具体化する機会であると受け止めております。<br>そこで、以下、順次伺います。 |

| | |
|---|---|
| | 【質問事項】<br>①　町は現在の財政状況をどのように分析しているのか伺います。<br>単年度収支や基金残高だけでなく、経常収支比率、財政の弾力性、将来負担の見通しを含め、現状をどのように認識しているのかお示しください。<br>②　今後の歳入見通しについて伺います。<br>令和 8 年度から令和 10 年度までの地方税の見込みについて、人口動向、納税義務者数の変化、景気動向などをどのような前提で見込んでいるのか、お聞きします。<br>③　今後の歳出面の課題について伺います。<br>社会保障関係経費の増加、公共施設の維持更新費用、物価上昇に伴う経常経費の増嵩など、将来的に財政を圧迫する要因をどのように捉えているのか、お聞きします。<br>④　今後 3 か年の財政計画をどのような考え方で運用していくのか伺います。<br>毎年度見直しを行う中で、見通しと実績のずれをどのように検証し、どの時点でどのように修正していくのか、町の考えをお聞きします。<br>⑤　第 8 次行革プランは、令和 8 年度から令和 12 年度を計画期間として、すでに公表されております。そこで、この第 8 次行革プランと実施計画との間で、どのように整合を図りながら行財政運営を進めていくのか、お聞きします。<br>⑥　第 8 次行革プランや実施計画と連動し、住民に分かりやすい財政情報の公表を今後どのように進めていくのか、お聞きします。<br>⑦　持続可能な行財政運営に向けた具体的な方策について伺います。<br>事業の選択と集中、既存事業の見直し、公共施設の適正管理、財源確保、行政運営の効率化を、今後どのような方針で進めていくのか、お聞きします。 |